

寅さん歩 その 26

東京の主要道路の起点～終点

池上通り－2



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環二通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」、「中央通り」、「桜田通り」、「新大橋通り」、「清澄通り」、「日比谷通り」、「新宿通り」、「青山通り」、「玉川通り」、「尾久橋通り」、「尾竹橋通り」、「言問通り」、「墨堤通り」、「多摩堤通り」、「三ツ目通り」、「四ツ目通り」、「早稲田通り」、「浅草通り」、「六本木通り」と歩いてきました。

今回は「池上通り」を歩いています。池上通りは品川区南品川の第一京浜の青物横丁交差点を起点に、大田区千鳥の環八通りの千鳥三丁目交差点に至る延長約7kmの道です。写真右上は池上通りの道路名標識（都道421号線）です。前回は起点からJR大森駅西口まで歩きました。

今回はJR大森駅西口から終点の千鳥三丁目交差点まで歩きます。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました（一部は以前の訪問時に撮影したものもあります）。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[大森駅西口] 大田区山王二丁目 最寄駅 JR大森駅



JR京浜東北線大森駅西口から線路沿いに商店街を進むと山王二丁目交差点（写真左）です。左へ線路をくぐると大森海岸通りで第一京浜（国道15号線）方面です。

[春日橋交差点]

大田区山王三丁目

最寄駅 JR大森駅

春日橋交差点（写真下右）で環七通り（都道 318 号線）と交差します。
左へ行くと平和島方面、右へ行くと高円寺方面です。



[大森文化の森交差点]

大田区中央二丁目

最寄駅 JR大森駅

大森文化の森交差点（写真下左）の左側に区民の文化活動・文化の発信を目的とする「大森文化の森」（写真下右の建物）があります。



[光教寺]

大田区中央四丁目

最寄駅 大森駅からバス利用



池上通りの右側に「光教寺」があります。
少し変わった建物なので右に渡りました。
浄土真宗本願寺派の寺院で、1928年
（昭和3年）福井県鯖江市の徳法寺の分
寺として創建したといわれています。
向かって左の建物は葬儀会場の光輪閣で
した。

[太田神社参道交差点] 大田区中央六丁目

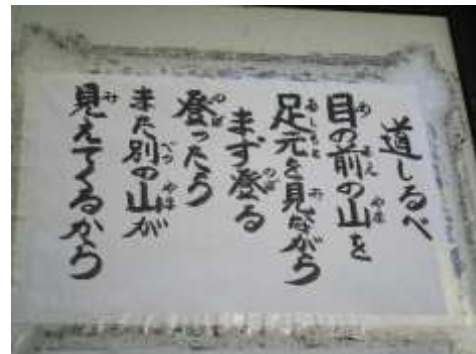
最寄駅 大森駅からバス利用

太田神社参道交差点（写真下左）の右を見ると「太田神社」の鳥居（写真下右）が望めました。太田神社の創建は不詳ですが、源平合戦の那須与一崇高の守り本尊がご神体で都内では唯一の那須与一ゆかりの神社です。社名は小田原北条の頃、この一帯の領主だった太田氏に因んだとのこと。



[成田山成心寺] 大田区中央七丁目 最寄駅 東急池上線 池上駅

左側に「成田山成心寺」（写真下左）がありました。1922年（大正13年）創建の真言宗智山派の寺院です。通称は大森成田山で写真下右は掲示板の言葉です。



[呑川・堤方橋] 大田区池上五丁目 最寄駅 東急池上線 池上駅

「堤方橋」（写真下左）を渡ります。世田谷区の桜新町を水源として目黒区、大田区を流れ、東京湾に注ぐ「呑川」にかかる橋です。写真下右は橋から池上本門寺方面を眺めました。



[本門寺新参道交差点] 大田区池上五丁目

最寄駅 東急池上線 池上駅



寅次郎、本門寺新参道を歩いたことはありませんが、右へ行くと本門寺前です。「池上本門寺」は1262年（弘安5年）創建の日蓮宗大本山です。正式名称は長榮山大国院本門寺で、開祖は日蓮、開基は池上宗仲です。日蓮は常陸へ向かう旅の途中、池上宗仲邸で入滅しました。

[池上本門寺] 大田区池上一丁目

最寄駅 東急池上線 池上駅

写真下左は大堂、写真下右は五重塔です。今回は立ち寄りませんので、寅さん歩60 健康ご利益めぐりー22 大田区をご覧ください。



[池上交差点] 大田区池上三丁目 最寄駅 東急池上線 池上駅

写真下左の池上交差点手前右の「本門寺通り」を行くと池上本門寺です。
写真下右は池上交差点で左側は池上駅、池上通りは直進します。



[徳持神社] 大田区池上三丁目 最寄駅 東急池上線 池上駅

右側に鳥居（写真下左）が見えたので、立ち寄りました。「徳持神社」は建長年間（1249年～1255年）に豊前（現在の福岡県）の宇佐神社よりご分霊を勧請したと伝わります。池上村大字徳持の住民の守護神として崇敬されました。



本殿手前に「健康歩道」がありました。靴を脱いで神前左右にある石を回り、正面の神前に健康祈願、無病息災などを祈るものです。写真下左は左側にある「長寿石」、右側には「健康石」があります。足の裏を小石で抑える健康法です。境内には「徳持田中稲荷神社」（写真下右）もありました。



家に戻り、「徳持」を調べたら池上村徳持（現在の池上駅付近）には1906年（明治39年）～1910年（明治43年）1周1マイルの「池上競馬場」があったと知りました。日本初の日本人の手による馬券が発売された競馬場でしたが、1907年（明治40年）開場の目黒競馬場と合併となり、廃止となったそうです。

〔毘沙門天池上微妙庵〕 大田区池上三丁目

最寄駅 東急池上線 池上駅

すぐ右側に「毘沙門天池上微妙庵」がありました。池上本門寺の境内外にある池上七福神の毘沙門天を祀るお堂です。厄除けと学問の神様で1689年（元禄2年）建立され、1751年（宝暦元年）蓮沼近くから現在地に移転、微妙庵と改称されました。



〔千鳥一丁目交差点〕 大田区千鳥一丁目

最寄駅 東急池上線 千鳥町駅



千鳥一丁目交差点（写真下右）で第二京浜（国道1号線）と交差します。
左へ行くと環八通り・多摩川大橋・横浜方面、右へ行くと五反田方面です。

[千鳥三丁目交差点] 大田区千鳥三丁目

最寄駅 東急池上線 下丸子駅

池上線の踏切を渡り、すぐ右折、千鳥小学校前を右折、サミット前を左折して進むと環八通りに突き当たります。環八通りの千鳥三丁目交差点（写真下右）が池上通りの終点です。前方の多摩堤通りは寅さん歩476 多摩堤通りをご覧ください。



写真左は終点にある池上通りの道路名標識です。右端が終点を示す直角です。

これにて池上通りを起点から終点まで歩きました。史跡が多く、歴史を見直すことが出来た道でした。

[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、現在はバーチャルウォーク 松尾芭蕉とあるく「奥の細道」に挑戦しています。

全行程約600里（約2400km）の長旅なので最後までたどり着けるか心配ですが、目標があれば元気に生きられると強がっています。

2022年4月26日、江戸深川（現在の江東区深川）を出発、2023年7月16日、敦賀・色浜から31km（江戸深川から2061km）の地点に到着しました。

この後は28km先の関ヶ原へ向かいます。

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。

FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。

平野 寅次郎 拝